

## 令和4年度「提案公募型事業」申請書類(2) < 受託申請書 >

ふりがな 団体名	港まち俳句の会						
ふりがな 代表者名	さとう ひでみつ 佐藤 日出満						
募集期間 (該当を○で囲む)	第①期 / 第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	●	【○】心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
		【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
		【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	港まち俳句の会						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	5	1	9	7	4	0	円
期間 (準備～事業終了日)	令和4年6月1日～令和5年2月12日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

<p>事業の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 港まちづくりより文化の発信をしていきたい</li> <li>2 俳句を通じて日本の伝統文化を知り、伝統的な日本語を知ってもらう</li> <li>3 俳句を介して引きこもりがちな人や、高齢者の生き甲斐を持っていただく</li> <li>4 事情があつて俳句会に来られない人の為に、在宅のまま俳句ができる</li> <li>5 子どもたちに日本の文化や四季の言葉に親しんでもらう</li> </ol> <p>見込まれる成果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 俳句はどなたでも親しめる文芸であり、地域の活性化の一助となる</li> <li>2 日本の祭事や自然や歴史に目を向け、また身の回りのことに気づいてもらえる</li> <li>3 幼年の頃より文芸に親しむことにより、将来の人間形成に役立つ</li> </ol>
---

(2) 事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月俳句会を開き四季折々に感じたことを発表し合う</li> <li>・俳句の会に参加できない人の為に、在宅のまま投句をしてもらう</li> <li>・俳句会は5年目を迎えて、上達をした人むけに掘り下げた俳句研究会を行なう</li> <li>・この事業を通じて良い句は2月に展示をしてコンテストを行う</li> <li>・西築地トワイライトスクールにて小学生を対象に俳句教室を行う</li> </ul>
--

## (3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

## 1. 内容

## 港まち俳句の会

- ・原則として毎月第3土曜日に開く
- ・予め季題と例句をプリントして渡し、それを参考に四季の感じたことを句にして披露し合う
- ・句会ではルールに従ってそれぞれの句を回し合い、良いと思う句を披講する
- ・個々の句は次回までに添削をして、一覧にしてプリントの上配布する
- ・在宅投句は添削をして次回の季題と共に返信する
- ・この事業の最終月2月に優れた句を発表展示してこれを表彰する
- ・2月の展示はコンテストを兼ねており、一般の人に投票して頂き投票者の中から抽選にて商品を渡す

## 西築地トワイライトスクール

- ・小学1～4年生を対象に「俳句にチャレンジ」という名称にて俳句に取り組んでもらう
- ・テキストには参考の季語と小学生向けの参考句をのせて、ときにはヒントをあたえる
- ・講師は2～3人を担当する
- ・毎回の作品は評価をして、コピーの上渡す
- ・担当時間は午後3時から4時迄である

## 港まち俳句研究会

- ・俳句会形式で行い一人一人の句の文法、表現、適切な季語の使い方などを指導する
- ・この俳句会は将来を見据えた講座としている

## 2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

港まち俳句の会は ポットラックビルにて6月18日、7月16日、12月17日、1月21日、2月4日に、西築地コミュニティセンターにて8月20日、9月17日、10月15日、11月19日を予定しております

西築地トワイライトスクールは 西築地小学校トワイライトスクールにて6月28日、7月26日、8月23日、9月27日、10月25日、11月22日、12月27日、1月24日を予定しております

俳句研究会は 西築地コミュニティセンターにて9月3日、10月1日、11月5日を予定しております

## 3. 想定参加者人数・参加者層

・港まち俳句の会は 毎月13人から15人で男性5人、女性8人から10人を予想している

この内 男性の60歳代は1人、70歳代は2人、80歳代は2人(現状)である

女性の50歳代は1人、60歳代は4人、70歳代は5人、80歳代以上は5人である(現状)

西築地トワイライトスクール俳句教室は 小学1年生6人、2年生6人、3年生6人、4年生2人と想定している

この内

港まち俳句研究会は 月々8人～10人にて男性3人、女性7人程度と予想している

## (4) 広報手段

- ・港まち俳句の会の募集と俳句展示コンテストに、チラシとポスターを利用する
- ・チラシは新聞折り込みにて学区内に、ポスターはスタッフによって各商店や個人の家に掲示する
- ・参加会員による口コミも願います

## (5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

- ①6月初めにポスター、チラシの印刷の手配と句会に必要な用紙類を印刷する
- ②句会に必要な物品の購入をする
- ③6月初旬にチラシ、ポスターを配布する
- ④6月18日より俳句会を開く
- ⑤6月28日より西築地トワイライトスクールにて「俳句にチャレンジ」として俳句教室を開く
- ⑥9月、10月、11月と俳句研究会を開く
- ⑦12月初旬に俳句の展示コンテストのチラシ、ポスターを作成する
- ⑧1月初旬にこれを発注して、1月中旬に配布、掲示する
- ⑨1月22日に在宅投句の締め切りをする
- ⑩1月29日に今迄の会員の俳句のよいもの入選を決める
- ⑪俳句展示とコンテストに必要なものを購入する
- ⑫2月 日迄に入選・特選を決め短冊に記入してポットラックビルに掲示する
- ⑬2月4日に俳句会を行った後、表彰をする
- ⑭賞品を渡せなかった人には後にスタッフが連絡と受け渡しをする
- ⑮2月4日と11日はこの事業の反省会をする
- ⑯2月18日に会計との最終打ち合わせを行う
- ⑰2月20日迄に港まちづくり協議会とこの事業の総括打合せを行い、実績報告書を提出する

## (6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

- ・スタッフの内2名は講師と副講師である
- ・他のスタッフ3名は副代表、会計、役員で地域との連携、会の準備、広報活動、購買、会計を担う
- ・委託外注は副代表と副講師が行う
- ・会の収支は会計がになう
- ・毎月の句会の良い句は役員が短冊に清記して、ポットラックビルに掲示する
- ・地域のスタッフはチラシ、ポスターの配布掲示をする
- ・俳句の展示コンテストの準備・運営は5人で行う
- ・この事業の報告書は副講師がとりまとめる

## 【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

## (1) 実現可能性

- ・スタッフ5名の内3名は俳句歴20年以上で、結社の同人でもあり、指導ができる
- ・スタッフ5名の内3名は学区内に住み、学区の事をよく知っている
- ・今年でこの事業は5回目で、参加者の評判が良く、年々人が増えている
- ・港まち俳句の会及び西築地トワイライトスクールの俳句教室は、事業期間外も活動をしていて俳句への関心が高い

## (2) 積算の妥当性

- ・物品購入費、委託外注費、印刷製本代、事務用品等は過去4回の実績をもとに数量を算定して見積を取り積算した
- ・この事業の人件費は過去の実績に基づき講師、副講師は1日1回として4000円、他のスタッフは1日1回2000円、打合せや広報活動は1日1回1000円とした。添削作業や清記作業は1回につき2000円とした。短冊清記は月1回2000円とした。
- ・西築地トワイライトスクールは午後3時から4時迄で1回2000円とした
- ・トワイライトスクール俳句教室の生徒指導は3~4人が限度のため、指導員は時に3~4人必要である
- ・トワイライトスクール俳句教室の添削、指導テキストは1回につき1000円とした

## (3) 公益性・社会貢献性

- ・老若男女を問わず子どもから大人まで楽しめて、気楽に参加できる
- ・閉じこもりの人には在宅のまま参加でき、生きる活力がでる
- ・働いている人、介護施設に通うひと在宅投句ができ、心が豊かになる
- ・俳句は諷詠が基本であり、地域の自然や祭事に目をむける
- ・地域に密着している

## (4) テーマとの整合性

- ・港町の自然や催事また、旅先での発見などを俳句に表現して心が豊かになる
- ・俳句会に参加してそれぞれの異なった考えを知り、また知らなかった事柄を学ぶ
- ・句会に参加できない人は在宅投句により港町のひととの輪ができる
- ・俳句もまた生き甲斐の一つとなる
- ・子どもに俳句を勧めることによって、創造性が生まれ、日本の文化を知ってもらえる

## (5) 将来性

- ・これまでの俳句会のアンケートをみれば殆どの方が楽しい、為になる等の評価である
- ・手軽に始められ飽きないため、港町づくりの文化の発信は絶えることがない
- ・今子どもたちが俳句を考えることが、やがて社会に対応できる一助になる
- ・俳句は奥が深いので、飽きることなく取り組んでいける

## (1) 支出の部

項目	金額(円)					
①外部講師謝金						円
②旅費交通費		3	2	2	4	0 円
③会議費						円
④物品購入費		2	7	0	0	0 円
⑤借上料		1	0	5	0	0 円
⑥保険料						円
⑦人件費	3	2	7	0	0	0 円
⑧委託外注費		1	4	0	0	0 円
⑨通信費		1	0	0	0	0 円
⑩印刷製本費		8	5	0	0	0 円
⑪事務費		1	4	0	0	0 円
<b>総支出合計=A</b> (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)	5	1	9	7	4	0 円

※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。

※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

※消費税・振込手数料なども考慮してください。

## (2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
① 師謝金 講	
0 円	
② 交通費	港まち俳句の会分 名鉄尾張旭—築地口 1240円×往復×18回 トワイライトスクール俳句教室分 名鉄尾張旭—築地口 1240円×往復×8回
3 2 2 4 0 円	
③ 会議費	
0 円	
購入費	コピー用紙A4500x3P×495円、B5500x2P×440円、短冊並15x15P×143円、短冊上50x1P×3025円、入選記念品18個×500円、液墨汁1個×3500円、紙テープ10ヶ×1P440円、透明テープ10ヶ×1P1870円、手指消毒剤とナプキン1SET3500円
2 7 0 0 0 円	
⑤ 借上料	西築地コミュニティセンター使用料 1500円×7回
1 0 5 0 0 円	
⑥ 保険料	
0 円	
⑦ 人件費	港まち俳句の会分 講師9回×4000円、添削テキスト代9回×2000円、俳句研究会3回×4000円、打合せ代6回×1000円、副講師9回×4000円、打合せ代15回×1000円、俳句研究会3回×4000円、副代表と会計2人×9回×2000円、打合せ渉外2人×18回×1000円、俳句研究会副代表1人×3回×2000円、役員短冊清記10回×2000円、役員打合せ手伝い18回×1000円、トワイライトスクール俳句教室講師副講師3人×8回×2000円、同副講師テキストと清記8回×1000円、講師打合せ4回×1000円、副講師8回×1000円、副代表8回×1000円
3 2 7 0 0 0 円	
⑧ 委託外注費	西築地学区への新聞折込料 会員募集チラシ 2200枚×3,1円 俳句展示コンテストのチラシ 2200枚×3,1円
1 4 0 0 0 円	
⑨ 通信費	港まち俳句の会 投句返信用封筒長形3号200枚2P×550円 同上切手80枚×84円 チラシ原稿送信料 2回1式2000円
1 0 0 0 0 円	
⑩ 印刷製本費	会員募集カラーチラシ制作代1式27000円同ポスター制作代6000円、展示コンテストカラーチラシ1式27000円同ポスター制作代12000円、句会用紙印刷代B5x800枚×11円、トワイライトスクール俳句教室分A4x200枚×11円
8 5 0 0 0 円	
⑪ 事務費	講師用エプソンプリンターインク代1セット 9000円 副講師用キャンプリンターインク代1セット 5000円
1 4 0 0 0 円	
総支出合計=A	
5 1 9 7 4 0 円	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください

**申請書作成時の注意**

- 申請書作成時には、下のチェックリストを参考にして、所定の記入欄に不足なく記入・添付してください。
- パソコンで作成する場合は、申請書の様式の変更、ページの増設をしないで下さい。又、ページの欠落に注意してください。
- 手書きの場合は読みやすく記入してください。

点検欄	申請書項目・添付書類
<input type="radio"/>	1 「提案事業の計画」(1～3ページ)は具体的に事業の内容をイメージできる記載となっているか。
<input type="radio"/>	2 申請書に記入もれはないか。「別紙記入」としていないか。(全てのページ)
<input type="radio"/>	3 事業の収支計画(5・6・8ページ)は、「提案事業」についての収支計画であるか。(団体等の活動全体の収支計画を記入していないか)、計算違いはないか。希望金額(1ページ)と事業の収支計画に計上した金額が合致しているか。
<input type="radio"/>	4 期間に誤りはないか。所定の期間の活動か。(1ページ)
<input type="radio"/>	5 相談窓口を利用したか。(仮受付をしているか)

**提出書類チェック**

点検欄	種類
<input type="radio"/>	1 令和4年度「提案公募型事業」受託申請書類(1) <団体紹介書> ※片面印刷 ※捺印したかどうかご確認ください。
<input type="radio"/>	2 令和4年度「提案公募型事業」受託申請書類(2) <受託申請書> ※片面印刷
<input type="radio"/>	3 [対象経費明細のエクセル様式を使用する場合] 対象経費明細(様式2)
<input type="radio"/>	4 [団体の場合] 団体等の定款・会則・規約または寄附行為(財団法人の場合)の写し ※片面印刷
<input type="radio"/>	5 [参加費を徴収する事業の場合] 様式1 【徴収される参加費に相当する事業費】

(様式1) 参加費を徴収する事業の方は以下の項目も必ず記入し、ご提出ください。

**【徴収される参加費に相当する事業費】**

**(1) 収入の部**

徴収する参加費の内容	単価(円)	人数(人)	合計(円)
<b>収入合計</b>			

**(2) 支出の部**

品目・内容	単価(円)	個数/人数	合計(円)
<b>支出合計</b>			

**参加費を徴収する場合の注意点**

- 参加費は、事業実施において必要な材料費等の実費分のみとします。参加費で充当される予定の支出品目については、委託金の中に含めて請求することはできませんので、ご注意ください。(充当する予定の支出項目については、上記「(2)支出の部」に記入してください。)
- 収入に関する証明書を精算時に提出していただきます。参加者リストを作成するなどして、人数等が客観的に把握できる資料を作成してください。